

# 音モダチ・プロジェクト 被災地支援活動

## 2012/8/27-30

今回の音モダチプロジェクトは以前に伺った所へ再度お伺いすることを中心に活動致しました。福島県いわき市にある双葉町の方々の仮設住宅には今年の4月に伺いました。仙台市の教護施設太白荘さんへは昨年7月8月とお伺いし3回目の訪問でした。東松島市のやもと赤井の里さんは昨年の7月に。気仙沼と陸前高田の施設は今回初めての所ではありますが街へは昨年8月にも訪れさせて頂きました。震災から1年半が過ぎ、被災地はどうなったのでしょうか、皆さんはいかが過ごされているのでしょうか。

初日は双葉町の仮設住宅内サポートセンターひだまりさんでコンサートをさせて頂きました。四月にもお見かけした顔もあり、皆さんの笑顔にお会いできて嬉しかったです。懐かしの歌謡曲や童謡、私どものオリジナルの曲などをお届けさせて頂きました。

「笑顔の歌」も盛り上がりました！

震災後何度もお住まいを転々とされてきたという方もいらっしゃいました。色んな想いを抱えて皆さん過ごされています。「ふくしまの四季は母」「見えないもの（放射能）」「「ほほ笑みの音符にのせて」も演奏させて頂きました。福島の方々の想いを歌っていきたいと思います。

仮設住宅が、解散となる時まで伺い続けて行きたいです。

皆さんお元気でお過ごしください。



たくさんお集まり頂きました！

2日目は仙台の教護施設太白荘さん、東松島市の特別養護老人ホームやもと赤井の里さんに伺わせていただきました。どちらも一年ぶりの訪問です。入所されている方から、また来てくれたのねと大変喜んで下さいました。また、東北のみんなを音楽で励ましてくださいね、と93歳のお母さんがおっしゃって下さいました。一緒に頑張りましょう、と。



太白荘さん  
素敵な装飾を  
ご用意下さいました！



赤井の里の皆様  
どうぞお元気で！

翌日の活動に備えその日のうちに気仙沼まで移動しました。

気仙沼までの道のりは沿岸の被害を受けたところも通りました。鉄道が寸断されていたり、家の土台だけとなった更地には雑草が生い茂っていました。まだまだ瓦礫を取り除いただけという状態のところばかりでした。そんな中、千羽鶴と「全世界のみなさんありがとう」と書かれた飾りのあるところがありました。東北の皆さん、がんばっています。

気仙沼の港から  
600mほど離れた  
所まで流された  
大型船



活動3日目、気仙沼は今年の三月に倉庫を改装して出来たというポプラの木さん、陸前高田は東部デイサービスセンターさんで演奏させていただきました。どちらもお年寄りの通所施設です。気仙沼、陸前高田という、津波の被害がかなりあったところのため、いらっしゃる方は家族、親戚を失ったり、お宅を流されたり、という方ばかりと伺いました。そうでない人を探す方が難しいそうです。眼に涙を浮かべて聴いておられる方も多くいらっしゃいました。演奏後は当時のことなどお話を伺わせていただきました。私たちがその場で見ていた景色からは想像もできない情景だったと伺いました。笑顔を見せて下さっていましたが皆さんどれだけお辛い想いをされてきたのでしょうか・・・心も癒されるひとときをありがとうございました、とお言葉をいただき、音楽をお届けすることができて、少しでもお力になれたならこんなに嬉しいことはありません。ありがとうございました。



気仙沼のアットホームな  
デイサービス  
ポプラの木の皆さんと



陸前高田  
東部デイサービスセンターの  
皆さん、お元気です！



昨年8月に訪れた時、陸前高田の奇跡の一本松を  
歌謡隊のみんなと見た気仙中学校は取り壊しになる  
ようです。  
思い出のメッセージが寄せらせていました。



今回の活動で新たな出会いも頂き、また是非皆様にお会いできるように活動を続けていきたい、と思っています。長期化する仮設住宅での暮らし、先の見えない生活、その中でも一歩一歩前を向いて進んでいらっしゃる東北の皆さんに、生きる力と人間の強さを教えて頂きました。しかし心のケアはとても必要でたくさんの想いを背負われている皆さんにとって大切なのではないのでしょうか。音楽にはその力があり、愛そのものです。私たちも微力ではありますが、音楽の愛をお届けさせて頂きたいと思っています。